



GIA国際世論調査

「エンド・オブ・イヤーサーベイ2021 : 世界の安定化」

44カ国・地域グローバル調査

調査結果



2022年3月8日
株式会社 日本リサーチセンター



◆「エンド・オブ・イヤーサーベイ」レポート

株式会社日本リサーチセンター（本社：東京都墨田区、代表取締役社長 杉原 領治）が加盟しているギャラップ・インターナショナル・アソシエーション（GIA）では、2021年9月から2022年1月にかけて世界45の国と地域の人々を対象に国際世論調査「エンド・オブ・イヤーサーベイ」を実施しました。この度、本調査の中から世界の安定化についての質問（トルコを除く44カ国・地域対象）の調査結果がリリースされましたので、日本版レポートを発表いたします。ご覧いただければ幸いです。

注1：比率（%）は、各国の人口に比例した重みを付けて集計を行っています（ウエイト集計）

注2：比率（%）は、四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならないところもあります

注3：一部データを更新しているため、ギャラップ・インターナショナル・アソシエーションのリリース版と数値が合致しないところもあります

注4：国・地域を一部「国」と略して表記しています

「エンド・オブ・イヤーサーベイ」は1977年にジョージ・ギャラップ氏により開始され、以降毎年、世界各国で実施しています（今回が45回目となります）。

◆ギャラップ・インターナショナル・アソシエーション（GIA）

1947年にジョージ・ギャラップ氏とヨーロッパの仲間によって設立され、現在はオーストリアに本部があります。現在世界のおよそ50カ国でメンバーを持ち、世界の多くの国で世論調査や市場調査を実施しています。

※なお、米国調査会社Gallup, Inc.とは関係ございません。

◆株式会社日本リサーチセンター（NRC）

1960年に設立された民間の調査研究機関です。

民間企業、官公庁からの受託調査・研究及び自主企画調査を国内外問わず実施しています。

ギャラップ・インターナショナル・アソシエーション(GIA)には日本で唯一の代表として1968年に加盟しました。



1. アメリカの国際政策について、44カ国・地域平均では、世界を「安定させている」と「不安定にさせている」の割合はいずれも4割前後で拮抗。日本では、「わからない」が5割強で最も多く、「安定させている」は約3割。

- アメリカの国際政策が世界を「安定させている」と「不安定にさせている」の回答割合の差の大きい順に並べてみると、日本は11ポイントで44カ国・地域中14位。上位3カ国は、フィリピン、ケニア、コソボ。一方、下位3カ国は、セルビア、アフガニスタン、ロシア。
- 調査結果を時系列で比べてみると、日本では、アメリカが世界を「安定させている」の割合の増加傾向が続き、世界を「不安定にさせている」の割合は減少傾向が続く。前回2020年までは「安定させている」の割合が「不安定にさせている」の割合を下回っていたが、2021年調査では逆転。



2. ロシアの国際政策について、44カ国・地域平均では世界を「不安定にさせている」の割合が5割近くを占め、「安定させている」は約3割。日本では、「わからない」と「不安定にさせている」がいずれも5割弱で「安定させている」は4%にとどまる。

- ロシアの国際政策が世界を「安定させている」と「不安定にさせている」の回答割合の差の大きい順に並べてみると、日本は-43ポイントで44カ国・地域中33位。上位3カ国は、アルバニア、ベトナム、ケニア。一方、下位3カ国は、コソボ、ウクライナ、ポーランド。
- 調査結果を時系列で比べてみると、日本では、前回2020年までの調査結果と比較して大きな差はみられず、世界を「不安定にさせている」の割合が「安定させている」の割合を上回る傾向が続く。



3. 中国の国際政策について、世界を「不安定にさせている」の割合が44カ国・地域平均も日本も最も多く、44カ国・地域平均では5割弱、日本では65%。一方、「安定させている」の割合は、44カ国・地域平均は約3割、日本では3%にとどまる。

- 中国の国際政策が世界を「安定させている」と「不安定にさせている」の回答割合の差の大きい順に並べてみると、日本はオーストリアと同率の-62ポイントで44カ国・地域中40位。上位3カ国は、アルバニア、ケニア、ナイジェリア。一方、下位3カ国は、韓国、ベトナム、スイス。
- 調査結果を時系列で比べてみると、日本では前回2020年までの調査結果と比較して大きな差はみられず、中国が「不安定にさせている」の割合が「安定させている」の割合を大幅に上回る傾向が続く。



4. EU（欧州連合）の国際政策について、44カ国・地域平均では世界を「安定させている」の割合が5割弱で最も多い。日本では、「わからない」が最も多く、66%。

- EU（欧州連合）の国際政策が世界を「安定させている」と「不安定にさせている」の回答割合の差の大きい順に並べてみると、日本は10ポイントで44カ国・地域中30位。上位3カ国は、アルバニア、ベトナム、ケニア。一方、下位3カ国は、ロシア、パレスチナ、アフガニスタン。
- 調査結果を時系列で比べてみると、日本では、前回2020年までは、「安定させている」の割合が「不安定にさせている」の割合を下回っていたが、2021年調査では逆転。

全対象国・地域の平均をみると、4カ国・地域の中で、その国際政策が世界を「安定させている」の回答の割合が最も多いのは、EU(欧州連合)で46%。一方、世界を「不安定にさせている」の回答の割合が最も多いのは、中国で47%。

- 4カ国・地域について、それぞれの国際政策が世界を「安定させている」の割合が最も多いのは、EU（欧州連合）で、46%。次いで、アメリカが39%。ロシアと中国は29%で同率。
- 4カ国・地域について、それぞれの国際政策が世界を「不安定にさせている」の割合が最も多いのは、中国で47%。次いで、ロシア（46%）、アメリカ（41%）、EU（欧州連合）（28%）の順となっている。
- EU(欧州連合)のみ、「安定させている」の割合が「不安定にさせている」の割合を上回る。
- 日本の回答者は、アメリカを除く3カ国・地域に対しては、それぞれの国際政策が世界を「安定させている」と考える人が少なく、44カ国・地域中の下位に位置。

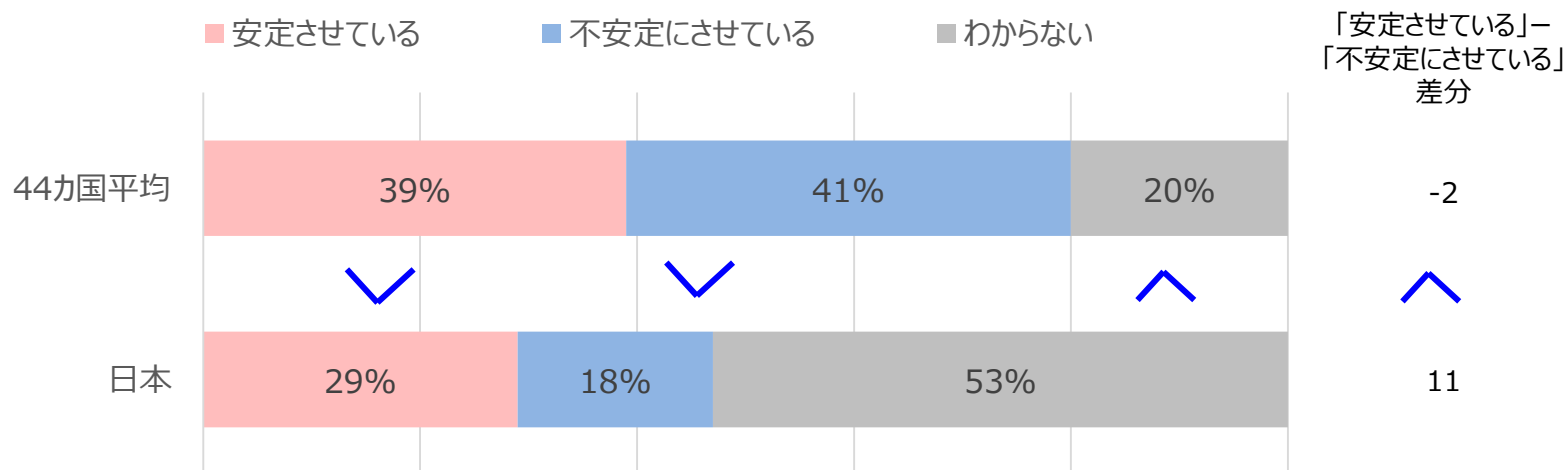


アメリカの国際政策について、44カ国・地域平均では、世界を「安定させている」と「不安定にさせている」の割合はいずれも4割前後で拮抗。日本では、「わからない」が5割強で最も多く、「安定させている」は約3割。

- アメリカの国際政策について聞いたところ、44カ国・地域平均では世界を「安定させている」の割合が39%、「不安定にさせている」の割合が41%と、いずれの回答の割合も4割前後で、意見が分かれています。
- 日本では、「わからない」が53%で最も多い。次いで、「安定させている」が29%、「不安定にさせている」が18%。「安定させている」が「不安定にさせている」を11ポイント上回る。
- 44カ国・地域平均と比較すると、日本では「わからない」の割合が33ポイント多い。

※トルコは本設問対象外

Q 次の大国や地域連合について、それぞれの国際政策は、世界を安定させていると思いますか。不安定にさせていると思いますか。／ アメリカ (単数回答)





- アメリカの国際政策が世界を「安定させている」と「不安定にさせている」の回答割合の差の大きい順に並べてみると、上位3カ国は、フィリピン、ケニア、コソボ。一方、下位3カ国は、セルビア、アフガニスタン、ロシア。
- 日本は11ポイントで44カ国・地域中14位。

※トルコは本設問対象外

■ 各国の「安定させている」-「不安定にさせている」の回答割合の差（差の大きい順に並べ替え）

1	フィリピン	66	16	アルゼンチン	7	30	香港	-16
2	ケニア	65	17	アゼルバイジャン	5	31	イギリス	-17
3	コソボ	62	17	メキシコ	5	32	スイス	-18
4	ベトナム	57	19	ウクライナ	4	33	ガーナ	-23
5	ナイジェリア	54	20	イタリア	3	34	アルメニア	-24
6	タイ	52	21	ドイツ	1	35	モルドバ	-30
7	アルバニア	48	22	北マケドニア	0	36	ブルガリア	-37
8	インド	34	23	ルーマニア	-1	37	ボスニア・ヘルツェゴビナ	-39
9	韓国	23	44カ国・地域平均		-2	38	イラク	-42
10	ポーランド	19	24	マレーシア	-3	38	ヨルダン	-42
11	エクアドル	16	25	チェコ	-7	40	パレスチナ	-43
12	コロンビア	14	25	スペイン	-7	41	パキスタン	-46
12	インドネシア	14	25	アメリカ	-7	42	ロシア	-49
14	日本	11	28	オーストリア	-10	43	アフガニスタン	-52
15	カザフスタン	10	28	ペルー	-10	44	セルビア	-56

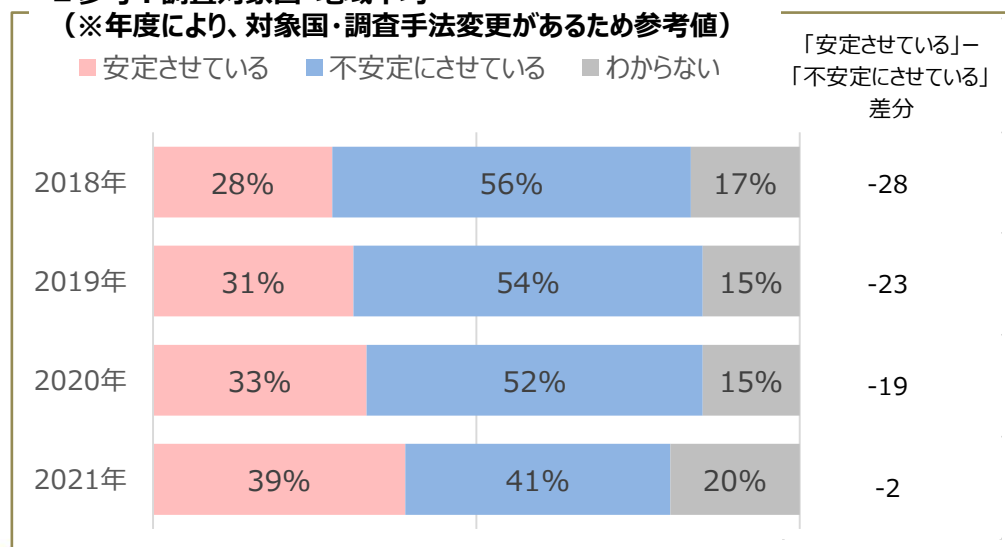


アメリカの国際政策について、調査結果を時系列で比べてみると、日本では、世界を「安定させている」が増加傾向、世界を「不安定にさせている」は減少傾向。

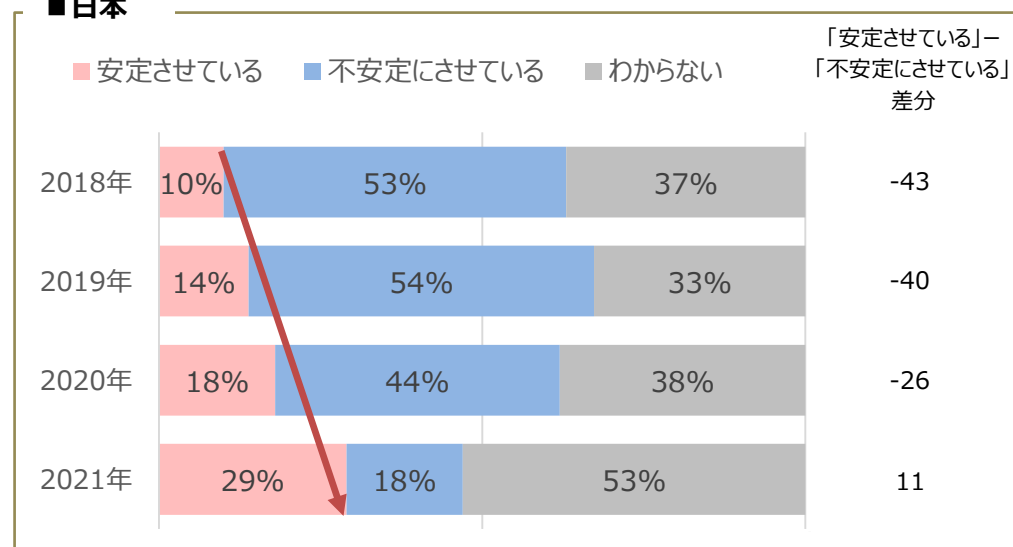
- 日本では、アメリカが世界を「安定させている」の割合が増加傾向が続き、世界を「不安定にさせている」の割合は減少傾向が続く。また、前回2020年までは「安定させている」の割合が「不安定にさせている」の割合を下回っていたが、2021年調査では逆転。一方で、「わからない」の割合は前回2020年の結果と比較して15ポイント増え、5割を超える。2020年米大統領選により、新大統領となった影響もあるのではないかと考えられる。
- 年度により対象国・調査手法の変更があるため参考値だが、対象国・地域平均でも、世界を「安定させている」の増加傾向が続き、世界を「不安定にさせている」の割合は減少傾向が続く。前回2020年までは「安定させている」の割合が「不安定にさせている」の割合を下回っていたが、2021年調査では、「安定させている」と「不安定にさせている」の割合が拮抗している。

Q 次の大国や地域連合について、それぞれの国際政策は、世界を安定させていると思いますか。不安定にさせていると思いますか。／アメリカ (単数回答)

■参考：調査対象国・地域平均
(※年度により、対象国・調査手法変更があるため参考値)



■日本

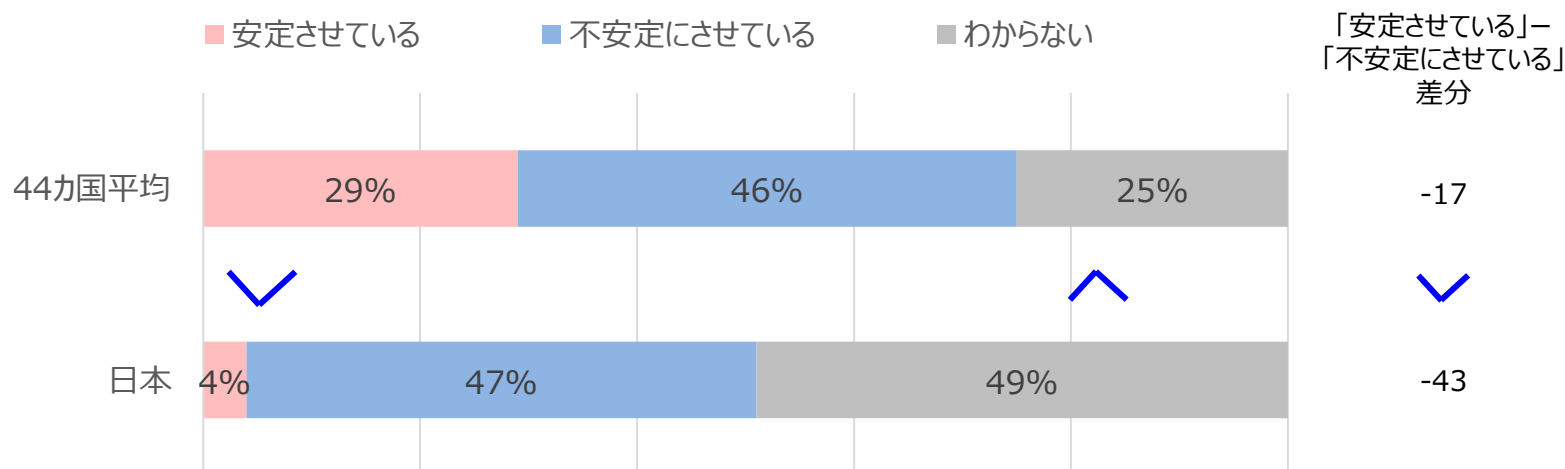


ロシアの国際政策について、44カ国・地域平均では世界を「不安定にさせている」の割合が5割近くを占める。「安定させている」は約3割。日本では、「わからない」と「不安定にさせている」がいずれも5割弱を占め、「安定させている」は4%にとどまる。

- ロシアの国際政策について聞いたところ、44カ国・地域平均では世界を「不安定にさせている」の割合が最も多く、46%。「安定させている」の割合は、29%。
- 日本では、「わからない」が49%、「不安定にさせている」が47%で、いずれも5割近くを占める。「安定させている」は4%にとどまる。
- 44カ国・地域平均と比較すると、日本では「安定させている」の割合が25ポイント少なく、「わからない」が24ポイント多い。

※トルコは本設問対象外

Q 次の大国や地域連合について、それぞれの国際政策は、世界を安定させていると思いますか。不安定にさせていると思いますか。／ロシア（単数回答）





- ロシアの国際政策が世界を「安定させている」と「不安定にさせている」の回答割合の差の大きい順に並べてみると、上位3カ国は、アルバニア、ベトナム、ケニア。一方、下位3カ国は、コソボ、ウクライナ、ポーランド。
- 日本は-43ポイントで44カ国・地域中33位。

※トルコは本設問対象外

■ 各国の「安定させている」-「不安定にさせている」の回答割合の差（差の大きい順に並べ替え）

1	アルバニア	74	15	タイ	4	30	イタリア	-36
2	ベトナム	63	17	ペルー	1	31	ヨルダン	-37
3	ケニア	42	18	エクアドル	-2	31	パレスチナ	-37
4	セルビア	41	19	ブルガリア	-3	33	日本	-43
5	カザフスタン	39	20	アルメニア	-7	34	韓国	-44
6	インド	33	21	ガーナ	-15	34	スペイン	-44
7	フィリピン	23	21	イラク	-15	36	アメリカ	-46
8	ロシア	22	44カ国・地域平均		-17	37	チェコ	-49
9	インドネシア	21	23	北マケドニア	-17	38	イギリス	-53
10	メキシコ	15	24	パキスタン	-25	39	スイス	-56
11	ナイジェリア	13	25	コロンビア	-27	40	オーストリア	-59
12	マレーシア	11	26	アフガニスタン	-31	41	ドイツ	-60
13	アゼルバイジャン	10	27	ボスニア・ヘルツェゴビナ	-32	42	ポーランド	-62
14	モルドバ	9	27	香港	-32	43	ウクライナ	-64
15	アルゼンチン	4	29	ルーマニア	-35	44	コソボ	-65

ロシアの国際政策について、調査結果を時系列で比べてみると、日本では大きな差は見られない。

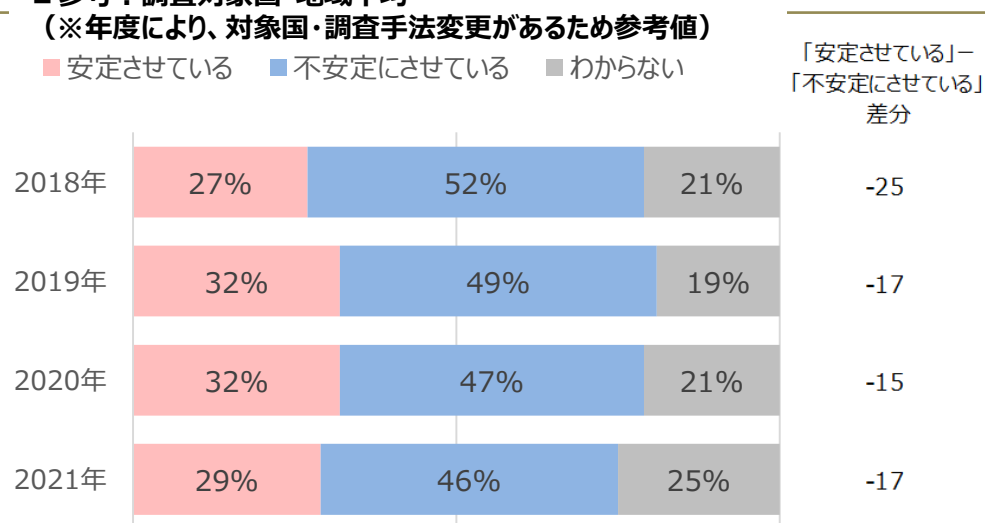
「不安定にさせている」の割合が「安定させている」の割合を上回る傾向が続く。

- 日本では、前回2020年までの調査結果と比較して大きな差はみられず、世界を「不安定にさせている」の割合が「安定させている」の割合を上回る結果が続いている。
- 年度により対象国・調査手法の変更があるため参考値だが、対象国・地域平均でも、前回2020年までの調査結果と比較して、大きな差はみられない。

Q 次の大国や地域連合について、それぞれの国際政策は、世界を安定させていると思いますか。不安定にさせていると思いますか。／ロシア（単数回答）

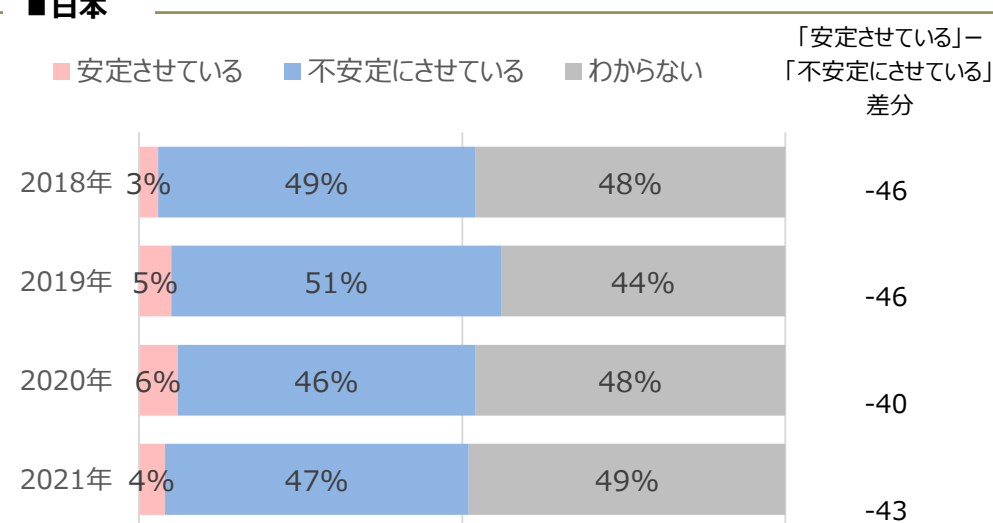
■ 参考：調査対象国・地域平均
（※年度により、対象国・調査手法変更があるため参考値）

■ 安定させている ■ 不安定にさせている ■ わからない



■ 日本

■ 安定させている ■ 不安定にさせている ■ わからない



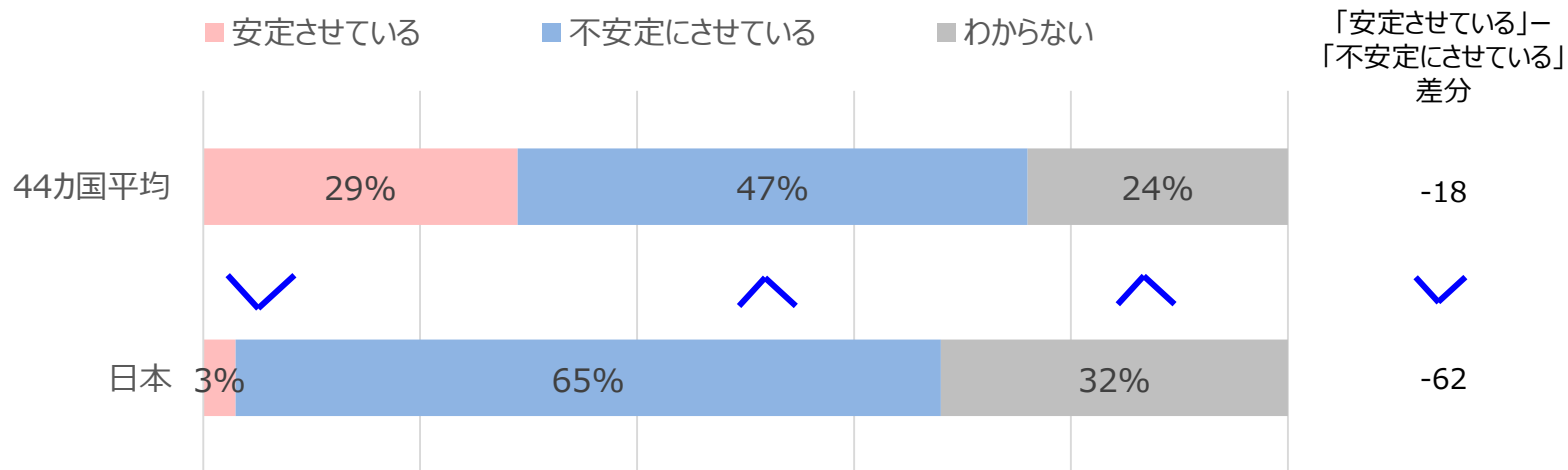


中国の国際政策について、世界を「不安定にさせている」の割合が44カ国・地域平均も日本も最も多く、44カ国・地域平均で5割弱、日本では65%を占める。一方、「安定させている」の割合は、44カ国・地域平均で29%、日本では3%にとどまる。

- 中国の国際政策について聞いたところ、44カ国・地域平均では世界を「不安定にさせている」の割合が47%と5割近くを占め、「安定させている」の割合は29%
- 日本では世界を「不安定にさせている」の割合が65%を占め、一方、「安定させている」の割合は、3%にとどまる。
- 44カ国・地域平均と比較すると、日本では「安定させている」の割合が26ポイント少なく、「不安定にさせている」と「わからない」の割合が多い。

※トルコは本設問対象外

Q 次の大国や地域連合について、それぞれの国際政策は、世界を安定させていると思いますか。不安定にさせていると思いますか。／ 中国 (単数回答)





- 中国の国際政策が世界を「安定させている」と「不安定にさせている」の回答割合の差の大きい順に並べてみると、上位3カ国は、アルバニア、ケニア、ナイジェリア。一方、下位3カ国は、韓国、ベトナム、スイス。
- 日本はオーストリアと同率の-62ポイントで44カ国・地域中40位。

※トルコは本設問対象外

■ 各国の「安定させている」-「不安定にさせている」の回答割合の差（差の大きい順に並べ替え）

1	アルバニア	61	16	ガーナ	-1	30	スペイン	-37
2	ケニア	58	17	香港	-2	31	ポーランド	-42
3	ナイジェリア	39	18	アルゼンチン	-4	32	インド	-43
4	タイ	37	19	ウクライナ	-9	33	パレスチナ	-45
5	マレーシア	33	20	メキシコ	-11	33	アメリカ	-45
6	パキスタン	32	20	インドネシア	-11	35	チェコ	-48
7	セルビア	27	22	ブルガリア	-15	36	イギリス	-54
8	アゼルバイジャン	24	23	北マケドニア	-16	37	イタリア	-57
9	ロシア	20	44カ国・地域平均		-18	37	コソボ	-57
10	カザフスタン	18	24	アフガニスタン	-18	39	ドイツ	-58
11	フィリピン	15	25	ペルー	-19	40	オーストリア	-62
12	アルメニア	13	26	ボスニア・ヘルツェゴビナ	-21	40	日本	-62
13	モルドバ	9	27	コロンビア	-23	42	スイス	-64
14	エクアドル	2	27	ヨルダン	-23	43	ベトナム	-69
15	イラク	1	29	ルーマニア	-34	44	韓国	-84

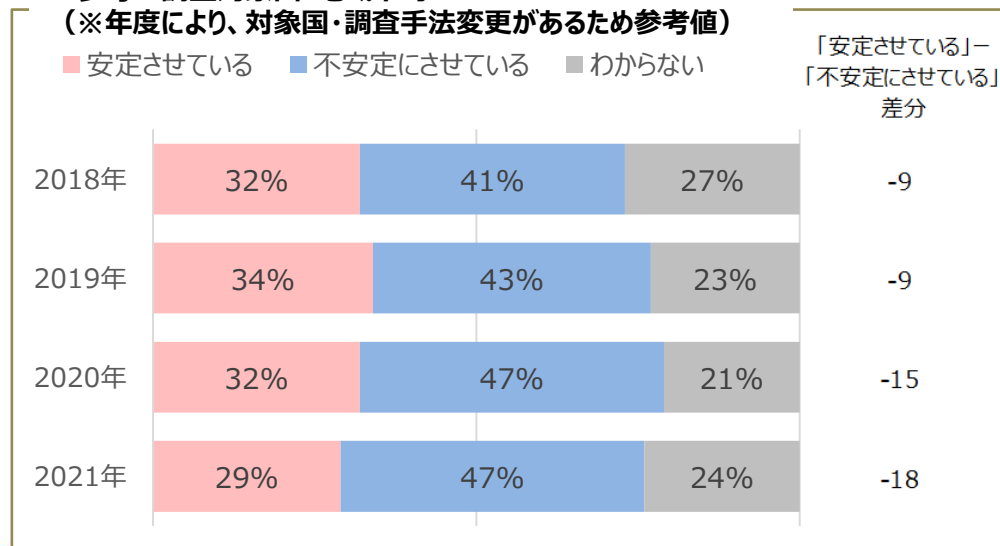


中国の国際政策について、調査結果を時系列で比べてみると、日本では、「不安定にさせている」の割合が「安定させている」の割合を大幅に上回る傾向が続く。

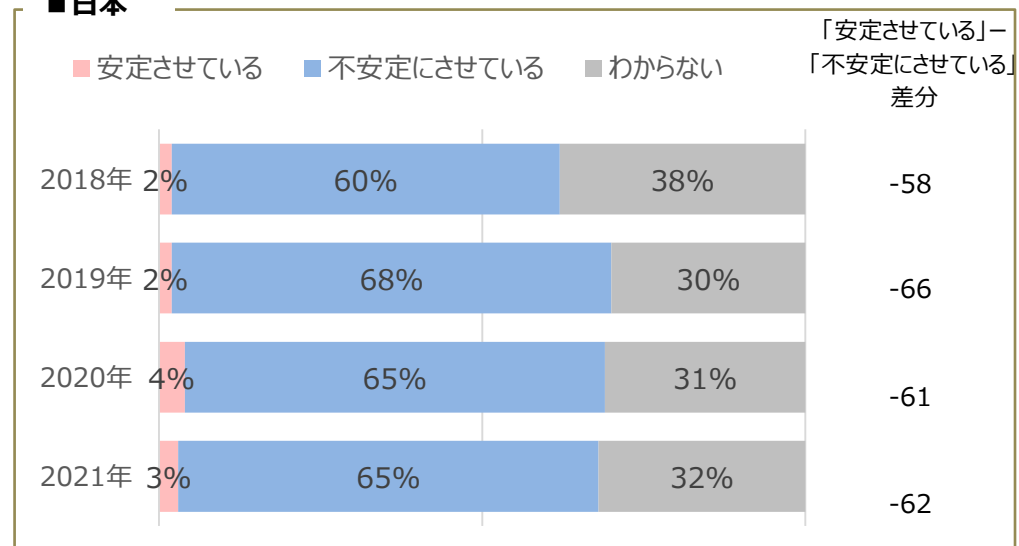
- 日本では、前回2020年までの調査結果と比較して大きな差はみられず、「不安定にさせている」の割合が「安定させている」の割合を大幅に上回る傾向が続く。
- 年度により対象国・調査手法の変更があるため参考値だが、対象国・地域平均では、2019年以降、「安定させている」の割合の減少傾向が続き、「不安定にさせている」の割合と「安定させている」の割合の差の拡大傾向が続く。

Q 次の大国や地域連合について、それぞれの国際政策は、世界を安定させていると思いますか。不安定にさせていると思いますか。／ 中国 (単数回答)

■参考：調査対象国・地域平均
(※年度により、対象国・調査手法変更があるため参考値)



■日本



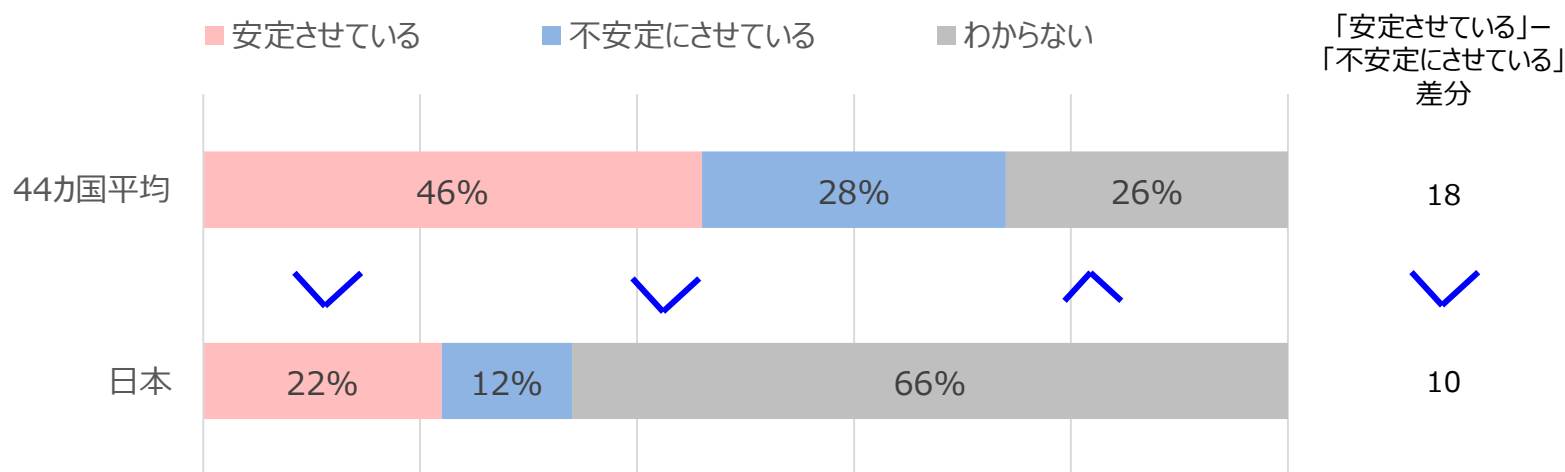


EU (欧州連合) の国際政策について、44カ国・地域平均では世界を「安定させている」の割合が5割弱で最も多い。日本では、「わからない」が最も多く、66%。

- EU (欧州連合) の国際政策について聞いたところ、44カ国・地域平均では、世界を「安定させている」の割合が最も多く46%。「不安定にさせている」の割合は28%。
- 日本では「わからない」の割合が最も多く、66%。次いで、「安定させている」が22%、「不安定にさせている」が12%。

※トルコは本設問対象外

Q 次の大国や地域連合について、それぞれの国際政策は、世界を安定させていると思いますか。不安定にさせていると思いますか。／ EU(欧州連合) (単数回答)





- EU(欧州連合)の国際政策が世界を「安定させている」と「不安定にさせている」の回答割合の差の大きい順に並べてみると、上位3カ国は、アルバニア、ベトナム、ケニア。一方、下位3カ国は、ロシア、パレスチナ、アフガニスタン。
- 日本は10ポイントで44カ国・地域中30位。

※トルコは本設問対象外

■ 各国の「安定させている」-「不安定にさせている」の回答割合の差（差の大きい順に並べ替え）

1	アルバニア	67	14	メキシコ	27	30	日本	10
1	ベトナム	67	14	ウクライナ	27	31	エクアドル	9
3	ケニア	52	18	カザフスタン	26	32	ボスニア・ヘルツェゴビナ	6
4	インドネシア	44	19	スペイン	25	32	ペルー	6
4	コソボ	44	20	オーストリア	24	34	アルメニア	3
6	コロンビア	39	21	イタリア	23	35	イギリス	-1
6	ナイジェリア	39	21	韓国	23	36	ガーナ	-2
8	ドイツ	37	21	フィリピン	23	37	イラク	-4
9	ポーランド	34	24	ルーマニア	20	38	香港	-12
10	アゼルバイジャン	32	44カ国・地域平均		18	38	ヨルダン	-12
11	北マケドニア	31	25	スイス	18	40	セルビア	-16
12	インド	30	26	タイ	17	41	パキスタン	-17
13	マレーシア	29	27	チェコ	16	42	アフガニスタン	-18
14	アルゼンチン	27	28	モルドバ	15	43	パレスチナ	-25
14	ブルガリア	27	29	アメリカ	11	44	ロシア	-30

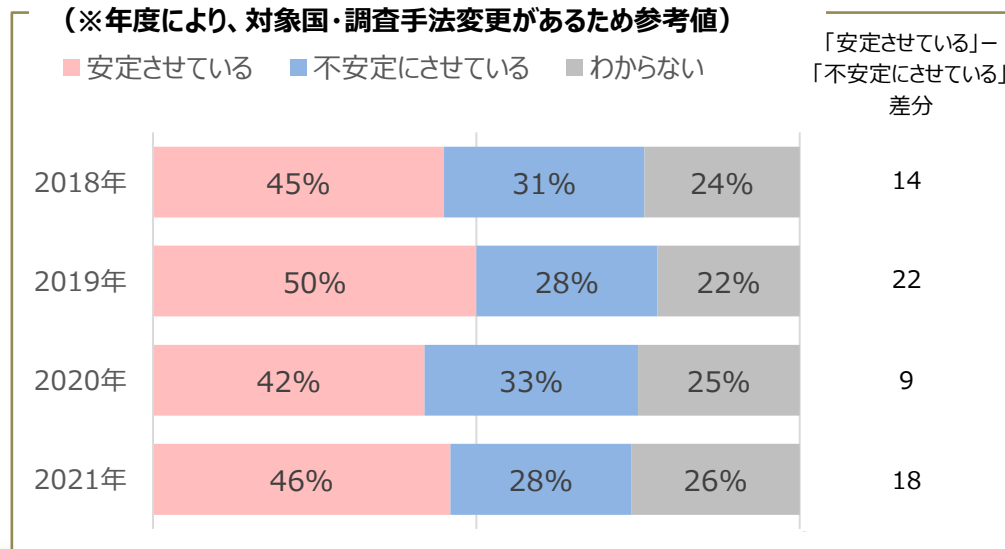


EU (欧州連合) の国際政策について、調査結果を時系列で比べてみると、日本では、世界を「安定させている」の割合が増え、世界を「不安定にさせている」の割合が減った。

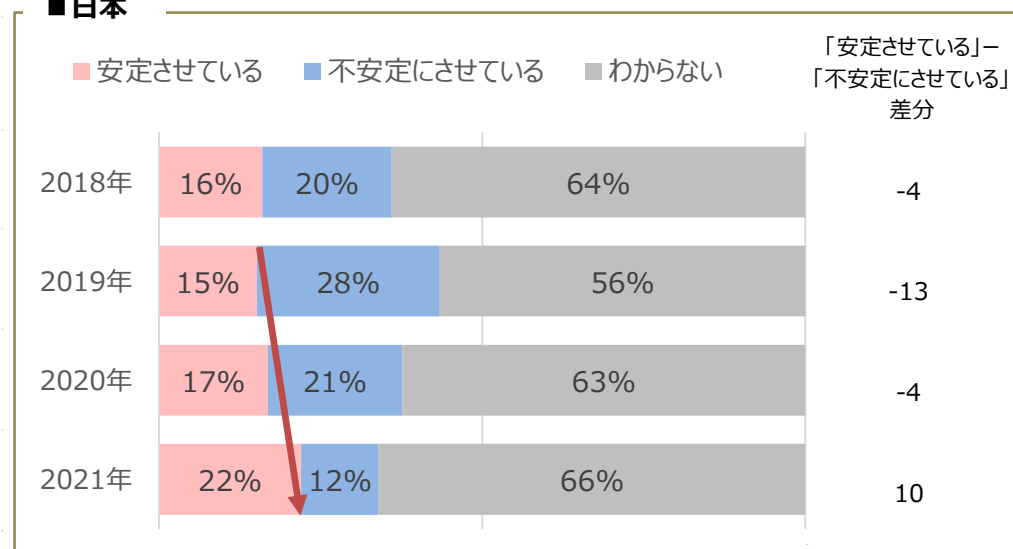
- 日本では、前回2020年までは、「安定させている」の割合が「不安定にさせている」の割合を下回っていたが、2021年調査では逆転。前回2020年調査の結果と比較すると、世界を「安定させている」の割合が5ポイント増、世界を「不安定にさせている」の割合が9ポイント減。「わからない」の割合は3ポイント増。
- 年度により対象国・調査手法の変更があるため参考値だが、対象国・地域平均では、全体的には、世界を「安定させている」の割合が、世界を「不安定にさせている」の割合を上回る傾向が続く。

Q 次の大国や地域連合について、それぞれの国際政策は、世界を安定させていると思いますか。不安定にさせていると思いますか。／ EU (欧州連合) (単数回答)

■ 参考：調査対象国・地域平均
(※年度により、対象国・調査手法変更があるため参考値)



■ 日本



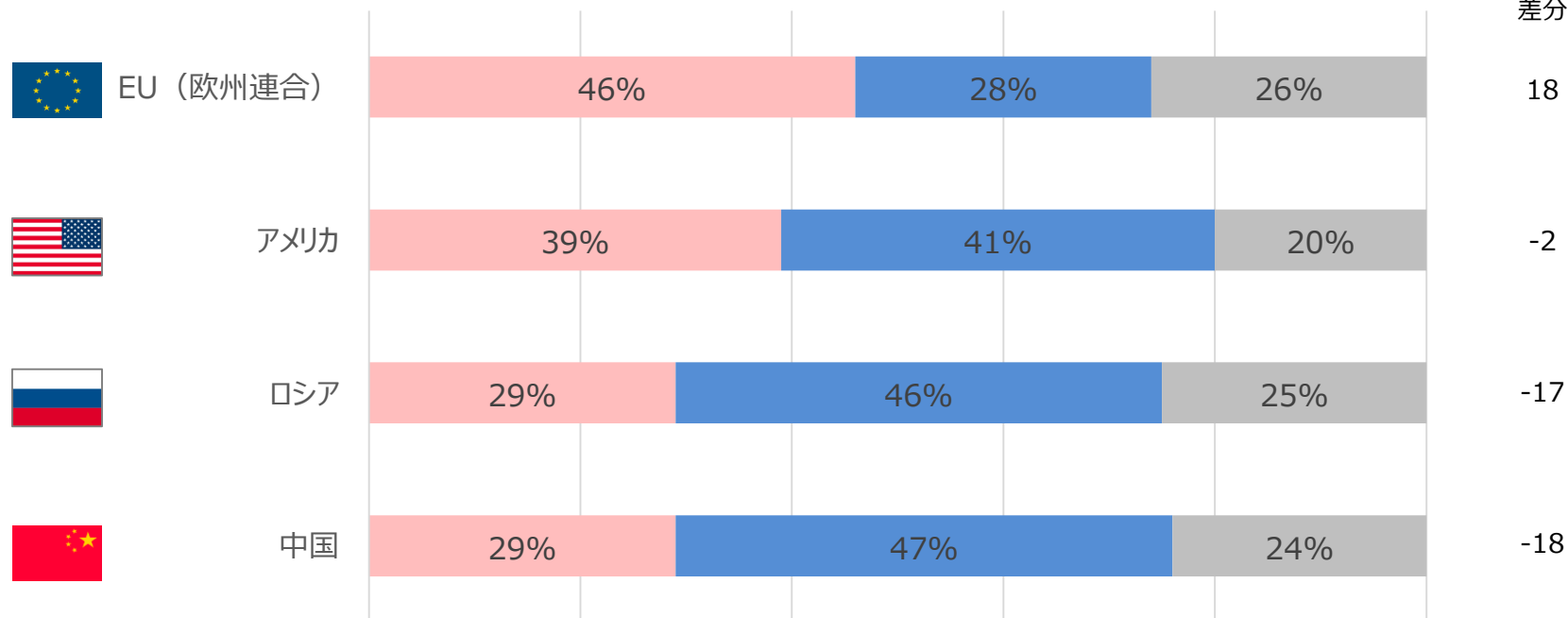
44カ国・地域平均を見ると、その国際政策が世界を「安定させている」の回答の割合が4カ国・地域の中で最も多いのは、EU(欧州連合)で46%。一方、世界を「不安定にさせている」の回答の割合が最も多いのは、中国で47%。

- 4カ国・地域について、それぞれの国際政策が世界を「安定させている」の割合が最も多いのは、EU（欧州連合）で、46%。次いで、アメリカが39%。ロシアと中国は29%で同率。
- 4カ国・地域について、それぞれの国際政策が世界を「不安定にさせている」の割合が最も多いのは中国で、47%。次いで、ロシア（46%）、アメリカ（41%）、EU（欧州連合）（28%）の順となっている。
- EU(欧州連合)のみ、「安定させている」の割合が「不安定にさせている」の割合を上回る。

※トルコは本設問対象外

■ 44カ国・地域平均：各国・地域連合の「世界を安定させている」の回答割合（割合の大きい順に並べ替え）

「安定させている」－
「不安定にさせている」
差分



■ 安定させている ■ 不安定にさせている ■ わからない

- 45カ国・地域の内訳と調査サンプルサイズは、以下の通り。
- 調査方法：訪問面接、訪問留置、電話、インターネット調査

地域	国・地域	サンプルサイズ
アジア	日本	1,154
	インド	1,124
	インドネシア	689
	タイ	600
	パキスタン	1,000
	フィリピン	1,000
	ベトナム	601
	マレーシア	1,002
	韓国	1,500
	香港	524
	北米	アメリカ合衆国
中南米	アルゼンチン	821
	エクアドル	730
	コロンビア	775
	ペルー	1,000
	メキシコ	501
中東	アフガニスタン	1,024
	イラク	1,000
	トルコ	1,003
	パレスチナ	770
	ヨルダン	885

地域	国・地域	サンプルサイズ
欧州	アゼルバイジャン	500
	アルバニア	501
	アルメニア	1,001
	イギリス	1,051
	イタリア	1,046
	ウクライナ	2,003
	オーストリア	1,000
	カザフスタン	493
	コソボ	953
	スイス	1,000
	スペイン	900
	セルビア	1,009
	チェコ	1,000
	ドイツ	1,000
	ブルガリア	803
	ポーランド	1,009
	ボスニア・ヘルツェゴビナ	1,000
	モルドバ	1,205
	ルーマニア	500
	ロシア	960
北マケドニア	1,210	
アフリカ	ガーナ	1,000
	ケニア	1,000
	ナイジェリア	1,000

45カ国・地域合計	41,879
トルコを除く 44カ国・地域合計	40,876

- 日本の属性別調査サンプルサイズは、以下の通り。

日本	属性	サンプルサイズ
性別	男性	564
	女性	590
年代別	18-24才	106
	25-34才	148
	35-44才	201
	45-54才	220
	55-64才	199
	65-79才	280
性年代別	男性18-34才	126
	男性35-44才	103
	男性45-54才	107
	男性55-64才	96
	男性65-79才	132
	女性18-34才	128
	女性35-44才	98
	女性45-54才	113
女性55-64才	103	
女性65-79才	148	

- 日本の調査仕様は、以下の通り。

調査方法：調査員による個別訪問留置調査
 調査対象：全国の18～79才男女個人
 実施期間：2021年10月2日～10月14日

《 引用・転載時のクレジット表記のお願い 》

本リリースの引用・転載の際は、下記連絡先にメールにて掲載のご連絡をお願い致します。

連絡先：(株) 日本リサーチセンター広報室

エンド・オブ・イヤーサーベイ2021 担当

メール：information@nrc.co.jp

本リリースの引用・掲載の際は、必ずクレジットを明記してください。

調査結果のグラフ・表をご利用の場合は、データ部分に
「日本リサーチセンター／ギャラップ・インターナショナル・アソシエーション（GIA）調べ」
とクレジットを掲載してください。